

社会福祉法人慈青会 平成 29 年度事業報告書

1. 社会福祉法人慈青会の事業状況

平成 29 年 1 月 19 日に社会福祉法人慈青会が設立し、同年 4 月 1 日より社会福祉法人制度改正により定款の改定や、法人機関に評議員（当法人は、平成 32 年 3 月 31 日までは 4 人体制）が加わり、平成 30 年 1 月 1 日に特別養護老人ホームささえが介護事業所として指定、同時に特別養護老人ホームが認可され、同年 1 月 10 日より入居者を受け入れ開始し、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護サービスがスタートしました。また、当年度におきましては、当法人の機関である理事会を 6 回、評議員会を決算時の 6 月と予算時の 3 月の 2 回開催しました。同年 3 月には、兼ねてより予定されておりました青森市指導監査課による法人事業および介護事業所の指導監査がありました（別紙参照）。ご指摘いただいた事項に関しましては、真摯に受け止め、利用者の生活の場を「ささえ」るため、今後の事業運営を丁寧かつ確実に行っていきたいと思います。

2. 特別養護老人ホームささえ事業状況

(1) 事業の概要

○所在 青森市港町三丁目 10 番 36 号 定員 29 人 平屋建て部屋数 29 室 ユニット型個室
平成 30 年 1 月 1 日 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護指定 介護事業者番号 0290100403
同日 老人福祉法第 15 条第 4 項規定特別養護老人ホームの設置の認可

○施設整備事業

- ・着 工 日 平成 28 年 12 月 7 日
- ・竣工引き渡し日 平成 29 年 11 月 15 日
- ・施設整備費（建物、設備等）

土 地	78,000,000 円	(株)藤地所
設計管理費	8,316,000 円	工藤真人建築設計事務所、(株)たいら山口設計
建築工事費	248,400,000 円	(株)黄金工務店
地下水利用融雪設備工事費	96,120,000 円	(株)リビエラ
車輛運搬費	6,583,634 円	青森トヨペット(株)、青森三菱自動車販売(株)
設備、備品及び調度品費	45,302,977 円	(株)東洋シルバーサービス、(株)金入他
合計金額	482,722,611 円	

○施設整備事業費資金内訳

自己資金	977,611 円	
福祉医療機構借入	221,500,000 円	
青森銀行借入	64,000,000 円	
青森市介護保険課	133,736,000 円	平成 28 年度高齢者福祉施設整備費補助金
青森市介護保険課	18,009,000 円	平成 29 年度施設開設準備経費補助金
環境省	44,500,000 円	平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策補助金
合計金額	482,722,611 円	※上記補助金は略名

○借入状況

独立行政法人福祉医療機構 221,500,000 円 設備資金
 (株)青森銀行 八重田支店 93,000,000 円 設備資金、運転資金
 役員借入 10,000,000 円 運転資金

○経営状況

施設開設時期が延期となり、利用者の確保としましては、口コミ等の情報から問い合わせが多数あり、やむなく申し込みを開始しました。この際、開設予定日が明確に伝えられずに待機となる方もおりましたが、事業開始の目途が着いた時点において再度内覧会の開催も合わせてお知らせすることとしました。内覧会は、平成30年1月5、6日の2日間開催し、この時も申し込みが多数ありました。

そして、平成30年1月10日より入居が開始され、当初は2名の入居者でスタートしましたが、3月末で総数は22名、うち女性16名、男性6名で平均要介護度は4.3となっております。

介護保険事業収益は14,850千円、サービス活動費用は58,150千円、サービス活動増減差額はマイナス43,299千円となりました。また、その他サービス活動外収益は5,062千円（関連法人への出向料計上）、支払利息は1,153千円となり、当期活動増減差額はマイナス39,390千円となりました。サービス活動費用の内訳は、人件費が32,040千円、事業費が20,925千円、事務費が4,760千円、減価償却費が9,277千円、国庫補助金等積立金取崩額が8,852千円となっております。

① 人材確保

開設予定の変更により、職員の採用時期が不定期となりましたが、職業安定所への求人や青森市広報による広告掲載により人材の確保は十分できました。

採用人数は、平成29年4月1名、7月3名、10月5名、11月2名、12月5名、平成30年1月4名、2月1名、3月2名 他医療法人より3名が異動になりました。配置は以下の通りです。

	施設長	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	介護支援専門員	栄養士	調理員	医師	その他	実人数 合計
職員数	1	1 兼1	16 1 兼4	2 1 兼3	1 兼1	1 兼1	1	2 2	1 嘱託	2	27

※上段は正職員数、中段はパート職員数、下段は他職との兼務の有無 有の場合「兼」と表記

② 職員教育

施設開設前は、系列法人のグループホームやヘルパーステーションにて現場での内部研修や実習を行い、高齢者の身体介護やコミュニケーション等について学びました。また、その他全職員に対して、運営理念やユニットケア等についての勉強会を開催しました。

今年度は、外部研修への参加は叶わなかったため、次年度以降は事業計画に沿った研修の参加を実施したいと考えております。

③ 事業運営

緊急時や事故発生、災害時の対応等のマニュアルを作成し、全職員に周知しました。

苦情・相談窓口を設置したが、入居に関する相談は多数ありましたが、苦情はありませんでした。

感染症を防ぐための衛生管理にも留意しました。職員、利用者に対してのインフルエンザの予防接種を実施し、まん延防止に努めました。また、感染した場合の対応も周知徹底したため、まん延することを防ぐことができました。

事故防止のため、入居者さんに対し常に目配り、気配りをして対応にあたりましたが、やむなく事故が発生しました。詳細は以下の通りです。

【事故報告 ヒヤリハット】

発生年月	報告形式	件数	事故内容
平成 30 年 1 月	事故報告	0 件	
	ヒヤリハット	6 件	転落しそうになる
2 月	事故報告	5 件	服薬ミス 1 件・鼻腔管自己抜去 2 件、 <small>いろいろせつぞくぶじこぼつきよ</small> 胃瘻接続部自己抜去 2 件
	ヒヤリハット	0 件	
3 月	事故報告	2 件	胃瘻接続部自己抜去・床に座っていた
	ヒヤリハット	2 件	転落しそうになる・味噌汁にサランラップが入っている

④ 運営推進会議

平成 29 年度は 3 月 28 日に第 1 回目の運営推進会議を開催しました。利用者家族、町会長、地域包括支援センターの職員 9 名の参加がありました。

⑤ 地域連携

当施設を周知するため、町会長や包括支援センター等との交流を図りましたが、開設した時期が冬季であったため、外出する機会はほとんどなく、利用者が地域との交流をすることはありませんでした。今年度は、地域との交流や施設の専門性を活かした活動は十分とは言えなかったため、今後さらに力を入れていかなければならない課題となりました。

(2) 年度末の利用状況

① 入居者の年齢状況

	70歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均年齢
男性	1	1	1	2	1	0	0	0	6	78.5
女性	1	0	2	2	4	5	3	0	17	86.8
総数	2	1	3	4	5	5	3	0	23	84.7
前年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比較	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

② 介護度状況及び入居前の居所

	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度	入居者の前住所地		
						港町地区	その他	計
男性	3	0	3	6	4	1	5	6
女性	2	7	8	17	4.3	1	16	17
総数	5	7	11	23	4.2	2	21	23
前年度	-	-	-	-	-	-	-	-
比較	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 年間の利用状況

① 利用者の状況

	延べ利用者数				平均介護度	日数	利用率
	要介護3	要介護4	要介護5	計			
当年度	194	300	665	1159	4.26	1159	72%
前年度	-	-	-	-	-	-	-
比較	-	-	-	-	-	-	-

※利用率は定員29名で計算しており、平成29年度は平成30年1月10日より入居開始です。

② 入退居者の状況

	退居者					入居者			
	退居の理由					入居前の生活場所			
	家庭復帰	長期入院	施設変更	死亡	計	家庭	病院	他施設	計
当年度	0	0	0	1	1	0	9	14	23
前年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比較	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③ 食事の提供状況（延べ食数）

	普通	刻み	ミキサー	流動食他	計
当年度	3	6	7	7	23
前年度	-	-	-	-	-
比較	-	-	-	-	-

以上